

# インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) カナガワダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) ユキモトゼミ
神奈川大学	経営学部	行本ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) チームワタナベ	フリガナ) ホリクルミ	3	無
チーム渡邊	堀くるみ		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール (具体的に使用するツールを明記してください)

プレゼンの内容理解補助のための資料 (プレゼンのスライドのコピー)

研究テーマ (発表タイトル)

自己啓発 (Practical Online Training)

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

## 1. 研究概要 (目的・狙いなど)

自分たちも含め、日本の大学生や正社員の中には自己啓発をしたいと思っているにも関わらず、そういったセミナー等のイベントは都内で行われるものが多いうえに費用がとても高いものが少なくない。この気付きをきっかけとして各々の知識をアウトプットする場且つ知識や人間関係を広める場を提案し、そういった人たちの自己啓発を手助けしてゆく。

## 2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

1で述べた人々の分析をしていったところ、総務省のデータによる自己啓発の実施状況 (正社員) は、「行っている」が 26.6%とあまり広い市場ではないことが分かった。さらに、同省による自己啓発を行っていない者の今後の希望調査 (正社員) は、「今後行いたい」が 49%と潜在顧客も高い市場であることが判明した。また、自己啓発を行っている人たちの自己啓発の手段は厚生労働省による能力開発基本調査 (正社員) によると自己啓発の実施手段は専門書を読む、インターネット等による自学が 49.4%を占めていた。次に社内での自主的な勉強会や研究会への参加が 29.1%を占めていた。なお、大学生の実施状況に関する統計・文献は無かったので割愛する。

### 3. 研究テーマの課題

自己啓発を行う上での最も大きな問題は厚生労働省の能力開発基本調査によると、大きく分けて「時間・費用」、「個々の興味・分野に適切な自己啓発」、「成長の度合い」の三つの課題があることが判明した。最も多数の割合を占めた「時間・費用」は、「仕事が忙しくて自己啓発の余裕がない」が 59.3%、「費用がかかりすぎる」が 29.7%となっていた。自己啓発に関する専門書を買っても読む時間がない、勉強会や研修会等も時間がないだけでなく、費用もとても高価なので参加の自由が利かないといった課題があるのである。

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

そこで私たちが提案させていただくのは Practical Online Training（以下 POT）というオンラインで行うディスカッションシステムである。POT ではスカイプを利用して四人程の人数で経営・金融・政治・経済・世界情勢についてのディスカッションをする。このメリットは業界や業種の枠を超えたディスカッションができることや時間の効率化ができること、無料のサービスであることある。またこのシステムは社会人・大学生（18歳以上）を対象とし、かつ、経営・金融・政治・経済・世界情勢などに興味・関心・知識があり、アウトプットのことを欲している人である。

### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

オンラインによる講義・ディスカッションを提供しているグロービスという会社にオンラインを通じて行うディスカッションで「論理的思考能力」、「問題解決能力」、「自己発信能力」を身に付けることは可能かという問い合わせをしたところ、可能という返答をいただいた。

POT のホームページを作成した。

### 6. 結果や今後の取り組み

ポットをクラウドファンディングに提案

企業に POT を提案

### 7. 参考文献

厚生労働省 平成 28 年度「能力開発基本調査」

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/104-28b.pdf>

総務省 平成 25 年度「ワーク・ライフ・バランスの推進に関する政策評価〈評価の結果及び勧告〉」

[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000233295.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000233295.pdf)

#### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経 BP マーケティング社様に作製していただく大会結果 HP に本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HP などに発表されていない)ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

さい。

---

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、提出してください